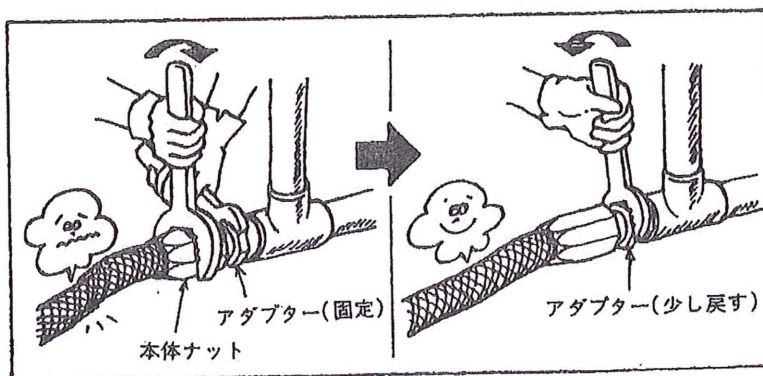


MT式フレキシブルチューブの取扱い方法及び一般的な注意事項

1. 取扱い時、あるいは運送途中において、他の物体との衝撃・擦過による損傷を、ブレード・チューブ・金具に与えないようにして下さい。
2. 配管の際、引張り荷重が、かからないようにして下さい。
引張り荷重が作用すると、耐圧低下の原因となります。
3. チューブをねじらないで下さい。
ねじこみ金具の締付けは、必ず2つのレンチを使用して下さい。
金属面接触型フレキシブルチューブの為、本体ナットは下記の締付けトルク値にて締付けて下さい。

口径 (A)	締付けトルク値 (N・m)	最小曲げ半径 (mm)
10	79	100
15	79	140
20	98	150
25	118	160

※チューブがねじれる場合は、少しねじれ戻しを行って下さい。



4. 取付け時、推奨最小曲げ半径を下回らないようにして下さい。
また、金具首元部には極端な曲げを避けて下さい。
5. 製品には、塵、水分、湿気等を避けて下さい。